



SMG/APP 社：自然林破壊は続く

中身のない「持続可能性ロードマップ」では
インドネシアの熱帯林破壊は止まらない

SMG/APP 社のため
に破壊された
世界優先トラ保護
地域

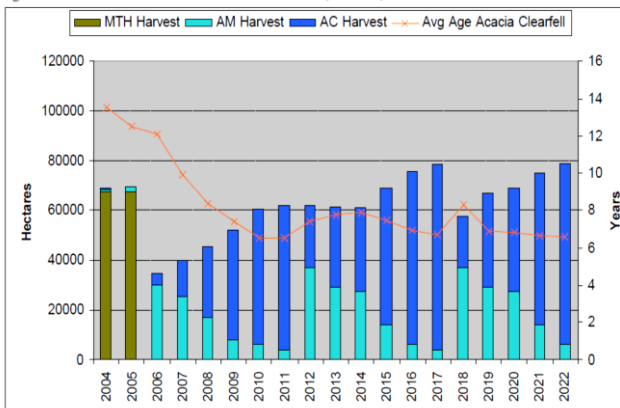
SMG/APP 社 2004 年の誓約:
2005 年以降、自然林破壊は行わない

NGO はこの誓約を信じなかった
SMG/APP 社はすぐにこの誓約を破った

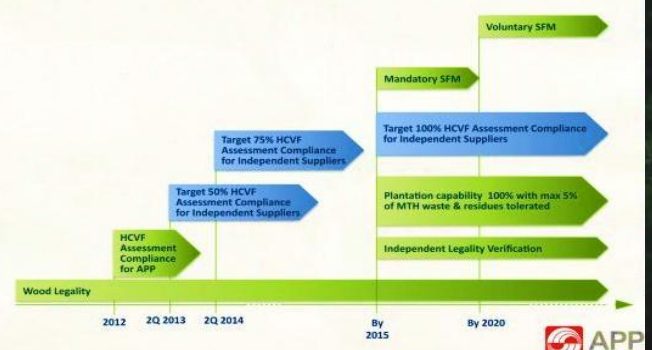
SMG/APP 社 2012 年の誓約:
2015 年以降の自然林破壊は限定的

どうして誓約を信じることができるだろうか？

Figure IV-2 Base Case harvest area forecast for AA (2004-22)



Sustainability Roadmap: Phased Approach to 100% Compliance



表紙

左表：SMG/APP 社が 2004 年に発表した「持続可能性行動計画」の 21 ページより。そこには次のような記述があった。そこには SMG/APP 社が所有する PT. Arara Abadi (AA) が 2005 年までに全ての自然林の伐採を止めることが書かれていた。加えて、SMG/APP 社は「これまでに、2007 年までに持続可能な企業となることを誓約しています。これは同年以降、社会的・環境的・法的に責任あるソース由来の再生可能な植林木繊維のみを使用することを意味しています」とあった。

右表：2012 年 6 月 5 日に SMG/APP 社が発表した「持続可能性ロードマップ：100%順守のための段階的アプローチ」より。「混交熱帯広葉樹材の廃材および残材を最大 5%許容する、植林木供給能力 100%」とある。

写真：SMG/APP 社が「混交熱帯広葉樹材の廃材および残材」と呼び始めたものを同社のパルプ工場に供給するため、ブキ・ティガプルの密林が伐採された。(2011 年 5 月 15 日、0°46'31.44"S、101°51'45.62"E、アイズ・オン・ザ・フォレスト撮影)

2012年7月26日発行 (WWFジャパン仮訳)

アイズ・オン・ザ・フォレストは、スマトラ島リアウ州の環境 NGO、フレンズ・オブ・ジ・アーズのリアウ州オフィス、ジカラハリ、リアウ森林レスキュー・ネットワーク、WWF インドネシア・リアウプログラムの連合体。スマトラ島リアウ州に残された自然林の状況を監視し、世界に情報発信を行なっています。詳細は、<http://www.eyesontheforest.or.id/> をご覧ください。Email: eof@eyesontheforest.or.id

概要

中国・インドネシア企業、シナル・マス・グループのアジア・パルプ・アンド・ペーパー（以下、SMG/APP 社）との契約を破棄する企業が増え続けている。同社のパルプ工場がインドネシアの自然熱帯林に破壊的な影響をもたらしているためである。

それに応える形で SMG/APP 社役員は最近、同社のサプライチェーンの一部における森林伐採の一時停止などの「新方針」が盛り込まれた、さらにもう一つの「持続可能性ロードマップ」を発表した^{1,2}。今回の「新方針」は予想通り、森林伐採の根本原因であり同社の顧客の離反理由である同社のパルプ工場の操業を対象としていない。

このロードマップには、新方針が適用される伐採許可地の大きさや場所、自然林被覆状況について一切の情報が提供されていない。さらに、同社の工場がパルプ生産用に消費する自然林由来の木材量や供給される木材の流通過程に関し、いかなる情報も明らかにしていない。

SMG/APP 社の透明性が欠けているため、スマトラ島の現地 NGO の連合体、アイズ・オン・ザ・フォレストは、何十年にもわたり SMG/APP 社の操業の中心地となってきたスマトラ島リアウ州に残された自然林に対して、同社の新方針が持つ意義を検討するため、公表されているデータを用いて予備評価を行った。

結論として、SMG/APP 社の新方針がリアウ州の自然林の保全へもたらす貢献はほとんどない。同社が伐採を一時停止すると主張した伐採許可地における全ての自然林は、既にインドネシアの法律と同社が以前に誓約した保護誓約によって守られている。これらの保護誓約はほぼ、法律を順守するという意義しか持たないが、問題なのは、リアウ州に残る自然林の 50%以上に当たる最大 120 万ヘクタールの自然林が、今回の新方針に影響されることなく同社工場に自然林材を供給し続けることができる、いわゆる「独立系パルプ供給会社」に皆伐される危険に晒され続けることだ。

つまり SMG/APP 社の最新の「持続可能性ロードマップ」は、これまで通り、自然林の皆伐によって得た木材をパルプ工場に供給し続ける計画と理解されるべきである。

このような状況が継続されるべき理由はない。前進のための明確な道は存在する。アイズ・オン・ザ・フォレストは SMG/APP 社が利害関係者から最低限の信頼を得られるよう早急に取り組むべき、いくつかの行動を提案する。最も重要なことは

SMG/APP 社はその全パルプ工場において自然林由来の木質繊維の使用を即刻、一時停止するべきである。

また、SMG/APP 社の顧客およびその他ビジネス上の関係者に対しては、以下を提言する。

SMG/APP 社の全工場が自然林由来の木質繊維を使用していないと同社が証明するまで、同社とあらゆる関係を断つこと。

SMG/APP 社による森林伐採の一時停止がリアウの森にもたらす影響

新方針の発表の中で、SMG/APP 社はパルプ材供給のための伐採許可地 1,082,934 ヘクタールを所有しており、追加で 1,558,731 ヘクタールを所有する「独立系組織」からも木材供給を受けていると述べている³。SMG/APP 社は所有する伐採許可地のみで自然林伐採を一時停止するが、その他のサプライチェーン、つまり独立系組織の伐採許可地では一時停止を行わないと述べた。つまり、SMG/APP 社の新方針は自然林伐採を許容し、伐採で得られる木質繊維で同社工場がパルプを生産することを認めている。

それでは、この新方針の意義は何なのか。SMG/APP 社の新方針により、同社が自然林に由来する木材でパルプ生産を続けることが明確になった一方、新方針の意義については全く不透明である。SMG/APP 社は、「未開拓地」での操業について頻繁に言及するが、その内容には触れていない。さらに「未開拓地」にどれだけの自然林が存在しているのかについて、「知らない」と主張し、明らかにしたくないようである⁴。このようなまったくの透明性欠如のため、アイズ・オン・ザ・フォレストは、SMG/APP 社の自然林伐採の一時停止がスマトラ島リアウ州の自然林に与える影響について、公開されているデータに基づいて予備的分析を行った。

SMG/APP 社が 1984 年にインドネシアで操業を開始して以来、リアウ州は同社の世界的な操業のための木材供給の中心地となってきた。同社は現在、リアウ州に PT. Arara Abadi、PT. Satria Perkasa Agung と PT. Riau Abadi Lestari⁵ の 3 社しか企業を所有しないと主張する。これら 3 社は、林業省データによれば 50 万 9000 ヘクタールの土地に伐採権を有し（地図 1 の黒線内、付録 1）、これは同社がインドネシアで所有していると明言している全伐採許可地の 47% に及ぶ。衛星写真によれば、2011 年の時点で 72,000 ヘクタール近くの自然林のみがこれらの伐採許可地内に残っていたことが分かる。

SMG/APP 社が伐採権を所有すると主張する 50 万 9000 ヘクタール内にある 72,000 ヘクタールの自然林すべては、すでにインドネシアの法律⁶と、ほぼ「法律を順守する」という以上には何の意味もない同社の誓約によって保護されている：

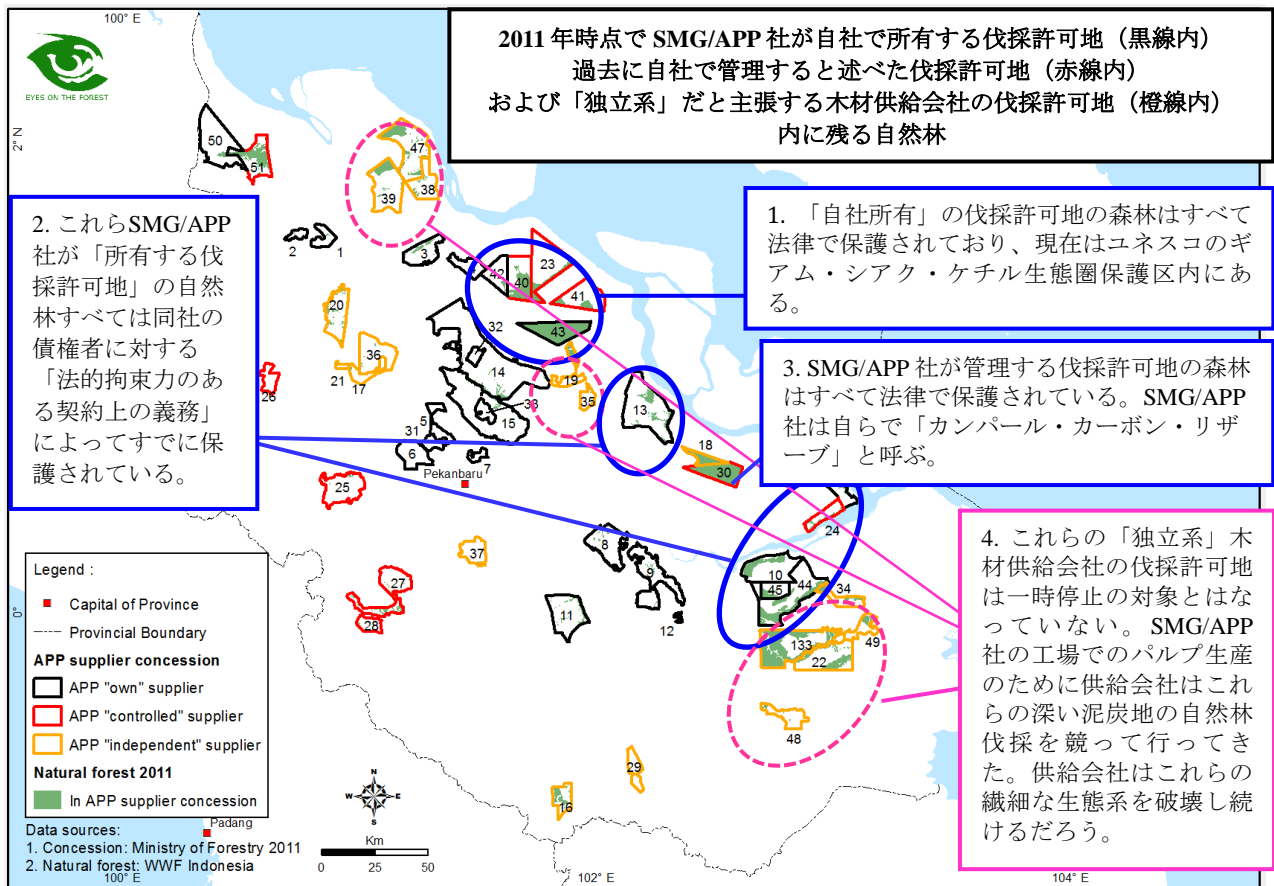
1. SMG/APP 社が自然保護への貢献を頻繁に宣伝するギアム・シアク・ケチループキ・バツ・ユネスコ生物圏保護区⁷（地図 1 - コメント 1）
2. SMG/APP が 2000 年代初頭にアジア最大といわれる債務不履行に陥った後、債権者と締結した 2004 年の協定に基づく法的拘束力のある契約上の義務^{8 9 10}（地図 1 - コメント 2）。

しかし、リアウ州にはこれら 3 社より多くの SMG/APP 社の木材供給会社がいる。同社は現在、彼らは「独立した」組織であると主張する。しかし彼らは本当に同社の管理下でない独立した第三者組織なのだろうか。

どうもこれは事実とは違うらしい。なぜなら、これまでの SMG/APP 社による発表やその他のデータによれば、現在 SMG/APP 社が所有すると主張する 3 社の他に、以下の 6 社が同社に管理されていることが示唆される：PT. Bukit Batu Hutani Alam、PT. Mitra Hutani Jaya、PT. Perawang Sukses Perkasa Industri、PT. Putra Riau Perkasa、PT. Sakato Pratama Makmur と PT. Dexter Timber Perkasa Indonesia（付録 2）。これら 6 社は、リアウ州に約 19 万ヘクタールの伐採権を所有し（地図 1、赤線内、付録 2）、その中には前述のユネスコ生物圏保護区内の伐採許可地や、インドネシアの法律を順守すれば、そもそも自然林伐採は許可されないにも関わらず、同社が多大な「自然保護への貢献」を謳うカンパール半島の森林区画も含まれている（地図 1、コメント 1 と 3、付録 2）。

SMG/APP 社の新方針は、自然林伐採の一時停止から、これら 6 社とその他の独立系木材供給会社を明確に除外している。同社にとって、自然林由来の木材は本当に必要なため、この新方針の発表のために、それほど独立してもいない供給会社まで突然独立させてしまったようだ。

⇒ **SMG/APP 社が現在「所有する」と主張する伐採許可地に存在する自然林はすべて既に保護され、その他の木材供給会社は新方針から都合よく除外されていることから、アイズ・オン・ザ・フォレストは、同社の新方針はリアウ州の自然林の保護に全く貢献しないと考える。**



地図 1. 現在 SMG/APP 社が所有とする伐採許可地 (黒線内)、以前 SMG/APP 社が管理すると述べた伐採許可地 (赤線内)、および SMG/APP 社による「独立系」伐採許可地 (橙線内) の中に 2011 年の時点で残っていた自然林。SMG/APP 社の独立系木材供給会社の伐採許可地に残っている最大 74,000 ヘクタールの自然林は新方針によらず依然として伐採される可能性がある (本報告書末の付録にこの地図上で番号がつけられている伐採許可地の一覧を掲載)。

リアウ州以外からの SMG/APP 社への原料供給についてはどうであろうか。

SMG/APP 社は、リアウ州外に 3 社を所有すると主張する：ジャンビ州の PT. Wirakarya Sakti、西カリマンタン州の PT. Finnantara Intiga、および東カリマンタン州の PT. Surya Hutani Jaya^{11 12 13 14}。これらは古くから開発されている伐採許可地で、そこには SMG/APP 社が今日においてパルプ生産に使用できるような自然林はほとんど残っていない。

⇒ **SMG/APP 社の「新方針」から同社の主張する「独立系」木材供給会社が除外されている事実から、アイズ・オン・ザ・フォレストは、同社の新方針はリアウ州外においても自然林を保護しないと考える。**

アイズ・オン・ザ・フォレストは、SMG/APP 社は 2010 年までにスマトラ島だけで 200 万ヘクタールの自然林をパルプ生産のために伐採したと推定した¹⁵。また、同社が毎年生産するパルプ 100 万トンにつき推定 77,000 ヘクタールの自然林と植林地を使用していると推定する¹⁶。同社は将来、年間何百万トンのパルプを生産するのデータを公表していないが、数百万トンという規模であることは確かである。アイズ・オン・ザ・フォレストの分析によれば、その一部が同社の木材供給会社が競って伐採しているリアウ州の貴重な泥炭地に由来する木材で生産されていることが分かっている。これらの深い泥炭地には、リアウ州のケルムタン半島、ギアム・シアク・ケチル地域、およびセネピス地域が含まれ、これらの泥炭地からの排水により、今後何十年にもわたって大量の炭素が排出されることになるだろう（地図 1-コメント 4）。これらすべての木材供給会社、伐採されるすべての自然林と炭素排出は SMG/APP 社の新方針からは除外されているのである。

⇒ アイズ・オン・ザ・フォレストは、SMG/APP 社の「新方針」は、これまで通り自然林伐採によるパルプ生産と泥炭地の破壊を続けることを意味していると考える。

自然林由来の木質繊維の不使用誓約と木材需要

2011 年 4 月、SMG/APP 社は「2015 年末までにパルプ材供給の 100%を持続可能な植林由来の原料から調達する」ための「ビジョン 2020：持続可能性のための原則と目標、プログラムを導くためのロードマップ」を発表した^{17 18}。これにより、同社は過去約 30 年間の操業を経てもまだ、持続可能な木材供給を確立できず、新しい土地を次々に手に入れてインドネシアの森林を破壊し続けるというビジネスモデルに依存してきたことを認めたのである¹⁹。

SMG/APP 社の新たな発表も持続可能性のための期限も、何ら新しいものではない。同社はこれまで森林に関する方針および誓約を幾度にもわたって発表してきている^{20 21}。同社は 1990 年代、2004 年までにパルプ生産における自然林由来の木質繊維の使用を実質的にゼロにすると誓約している²²。しかし誓約は守られなかった。そこで 2004 年、債務を抱えていた同社は債権者に対して 2007 年までには自然林の使用をゼロにするという「法的拘束力のある契約上の義務」に署名した^{23 24 25}。しかし誓約はまた守られなかった。そこで 2007 年、2009 年までにはゼロにすると誓約した²⁶。しかし誓約はまた守られなかった。そこで 2011 年、「ビジョン 2020」の中で 2015 年までにはゼロにするという発表をした。

しかしビジョン 2020 の発表直後、SMG/APP 社は 2017 年までにパプア州に 50 万ヘクタールのパルプ材用植林地、また南スマトラと東カリマンタンにそれぞれ年間 200 万トンのパルプ生産能力を持つ新規パルプ工場 2 カ所の建設を計画していると報じられた^{27, 28}。2012 年初めにも、2015 年に南スマトラで新規の巨大パルプ工場の操業を開始するという計画が報じられている²⁹。これは同社によるインドネシアの森林への脅威を飛躍的に増大させるものである。

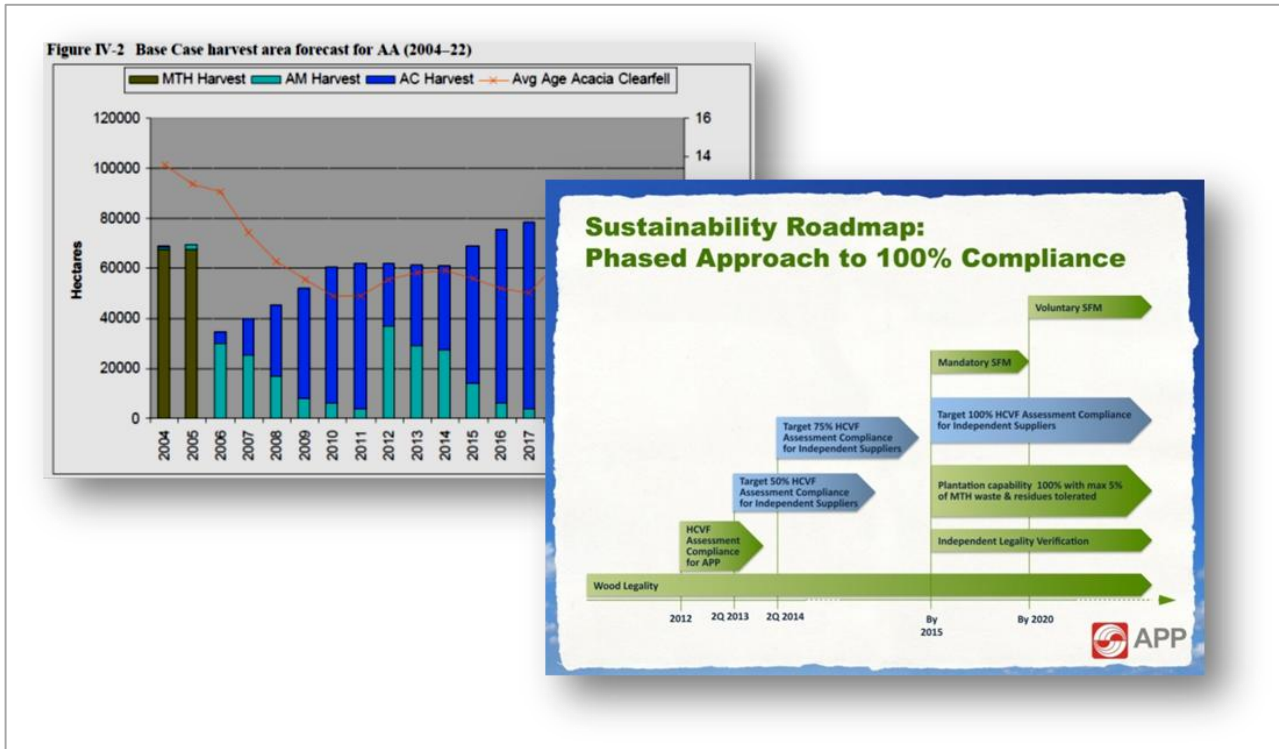


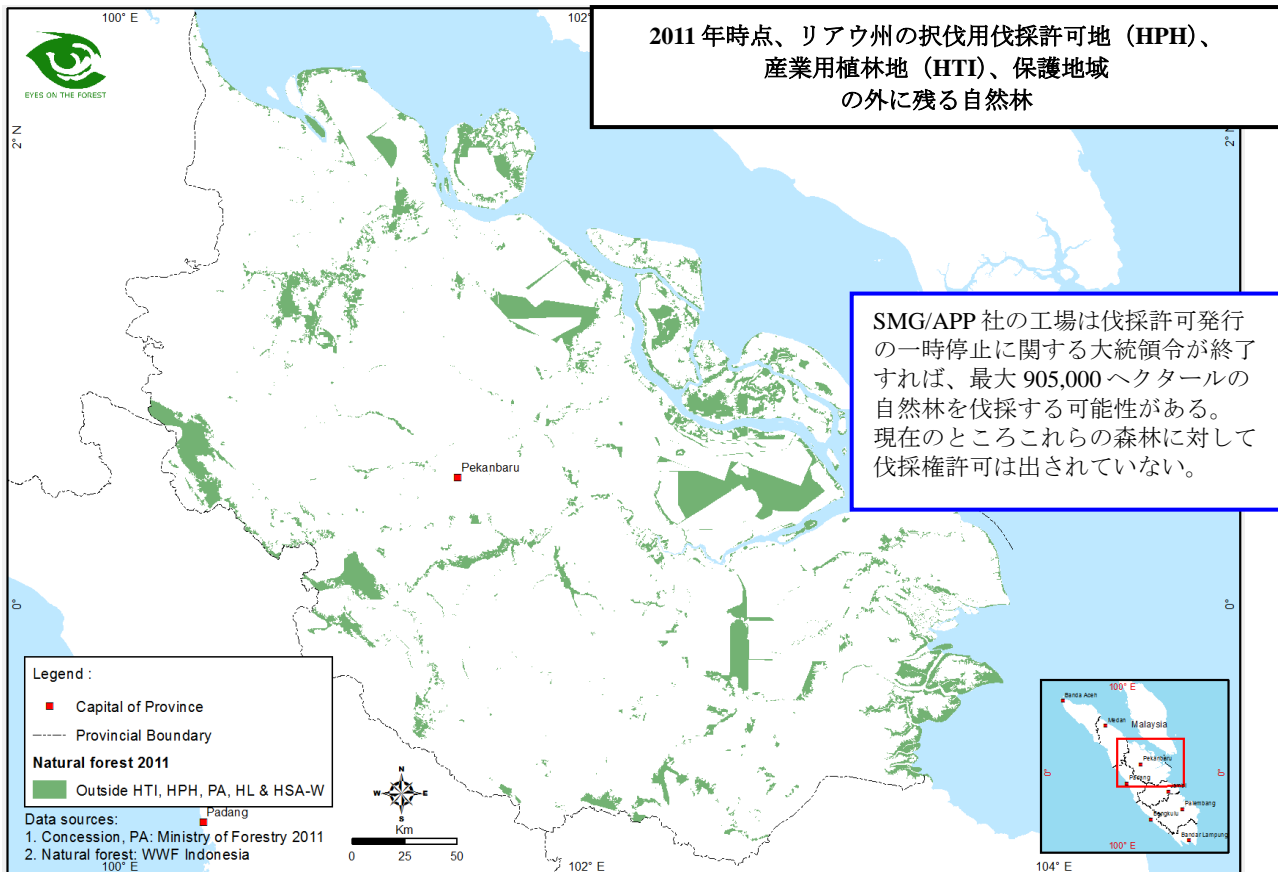
図1. 「自社所有の伐採許可地」で2005年以降、混交熱帯広葉樹材を使用しないことを示すSMG/APP社2004年発表の「持続可能性行動計画」(左)と2015年以降も限定的に混交熱帯広葉樹材を使用すること示す2012年発表の「持続可能性ロードマップ」(右)

「ビジョン2020」から1年以上過ぎた2012年6月5日、SMG/APP社は新たな「2020年以降の持続可能性ロードマップ」³¹を公表した。しかし実際ロードマップとして発表されたものは「ロードマップ指標」³²(図1)のみで、それを説明するデータや情報は全く発表されなかった。さらに、「新方針」は事実上「2015年までに自然林由来の木質繊維の使用をゼロ」にするという誓約を無期限に破棄して「ビジョン2020」を撤回し、代わりに2015年以降、最大5%の「混交熱帯広葉樹の廃材と残留物」を許容すると記している(図1)。

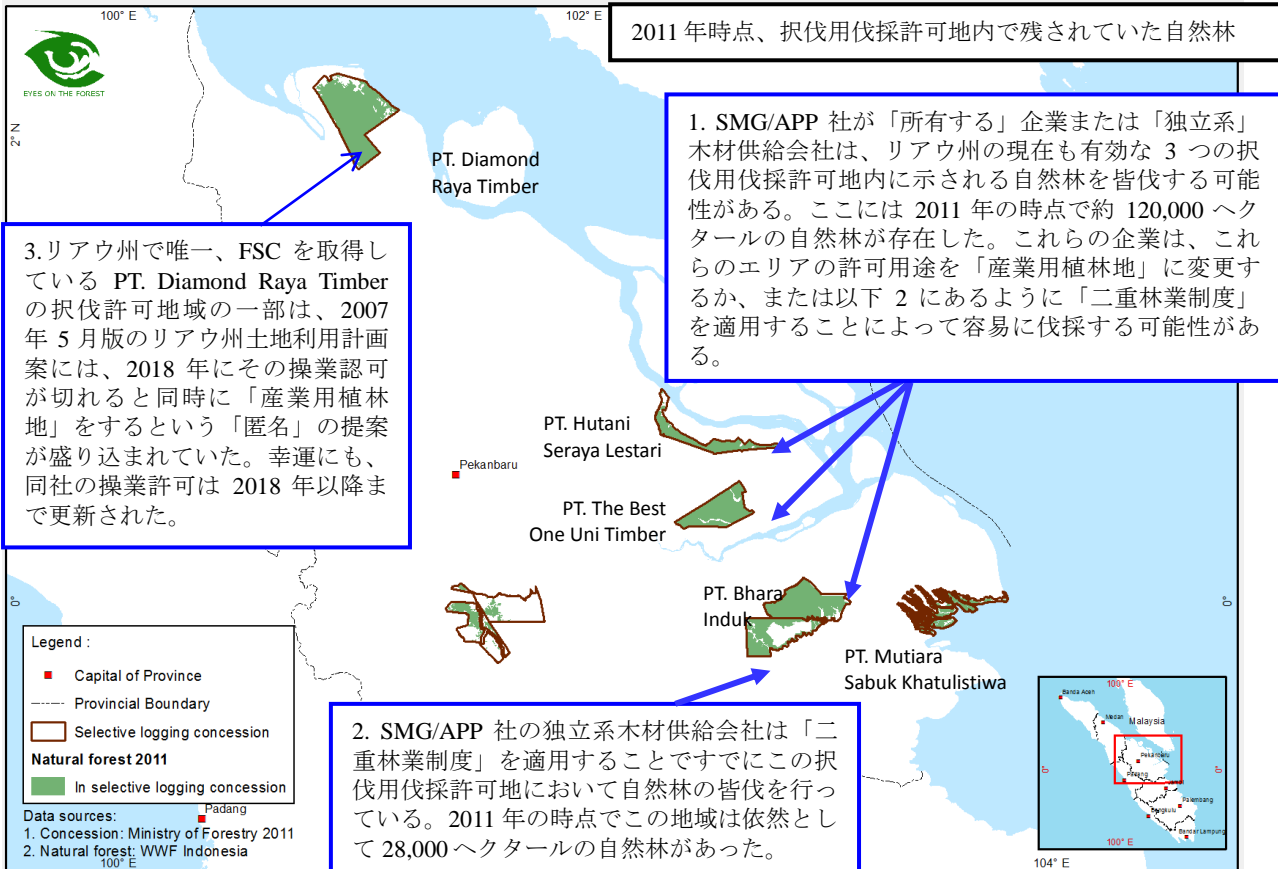
SMG/APP社は熱帯林の破壊によってパルプにする木質繊維を「混交熱帯広葉樹の廃材と残留物」と呼び習わし、これを「持続可能な開発計画の一部として森林が劣化、伐採、または焼失した後に除去される残留物」としている³³。実際は、アイズ・オン・ザ・フォレスト³⁴や他の多くのNGOが報告しているように(写真1-3および表紙参照)、そのように呼ばれる木材は同社の木材供給社がパルプ生産のために皆伐する前は熱帯林であった。

リアウ州だけで、2011年、残されている自然林の50%(最大120万ヘクタール)が、依然として伐採可能でパルプへと変えられる可能性がある(地図1、2、3)。その森林の多くは絶滅寸前のスマトラトラヤスマトラゾウの生息地として、また危機的状況にある森林タイプ³⁵などの保護価値の高い地域であり、それらの多くは深い泥炭地の上にある³⁶。SMG/APP社の事業拡大計画のために木質繊維の需要はこれまで以上に高まるが、同社は工場での自然林由来の木質繊維の消費を止めない計画であるため、これらの森林は非常に危険な状態に晒され続けることになる。

⇒ これまでSMG/APP社が自らの誓約を繰り返し破り続けたこと、また木材供給のニーズを減少させるどころか増大させていることから、アイズ・オン・ザ・フォレストは、今後も長年にわたって同社はリアウ州内外の自然林を消費し続け、また熱帯林をパルプへと変えるために独立系木材供給会社を利用し続けるだろうと確信している。



地図 2. 択伐用伐採許可地（HPH）、産業用植林地（HTI）、保護地域（保護林 HL と保護区 HSA-W）の外に残される自然林は、まもなく「皆伐可能」になる可能性がある。



地図 3. 現在も有効な択伐用伐採許可地内で将来「皆伐可能」になる可能性のある自然林。



写真1. SMG/APP 社が自ら宣言した「セネピストラ保護区」に隣接する熱帯林を皆伐するためにつくられた、深い泥炭地から水を抜くための水路。かつては自然林が水路の両側を覆っていたが、PT. Sumtara Gajapati は SMG/APP 社のパルプ工場へ混交熱帯広葉樹を供給するためにこの地の森林を伐採した。この地域は「保護価値の高い森林」で、絶滅寸前のスマトラトラの個体群が生息する大規模な森林地帯の一部であり、危機に瀕する泥炭地の生態系となっている。(2012年5月18日、 $2^{\circ}1'2.92''$ N、 $101^{\circ}11'44.32''$ E、アイズ・オン・ザ・フォレスト撮影)



写真2. PT. Suntara Gajapati の伐採許可地 (写真1と同) のセネピスの自然林が伐採されトラックに積まれる。(2012年4月29日、 $1^{\circ}56'56.94''$ N、 $101^{\circ}13'8.91''$ E、アイズ・オン・ザ・フォレスト撮影)



写真3. スマトラ中部のジャンビ州で SMG/APP 社の木材供給会社、PT. Tebo Multi Agro がスマトラトラ、スマトラゾウ、スマトラオランウータンの生息地であるブキ・ティガプルの密林を皆伐した後、大木が積み上げられている。(2011年11月1日、1°1'57.63"S、102°2'39.91"E でアイズ・オン・ザ・フォレスト撮影)

保護価値の高い森林（HCVF）の調査

SMG/APP 社は国際的に認められている「保護価値の高い森林」の基準に従い、伐採許可地の一部の調査を行うために「信頼のおけるに専門家」を雇ったと発表している。SMG/APP 社は過去に幾度となく、多くの専門家に様々な調査を依頼し、ギアム・シアク・ケチル、カンパール、ケルムタンの伐採許可地で特定された「保護価値の高い森林」の保護を宣伝してきた。しかし、衛星画像により、それらの森林を同社が後に伐採したり、違法伐採から守らなかったことが明らかになっている³⁷。

⇒ SMG/APP 社のこれまでの「保護価値の高い森林」の保全に関する問題だらけの過去、そして透明性の欠如を考慮し、アイズ・オン・ザ・フォレストは同社が今後も工場で「保護価値の高い森林」をパルプへと変え続けると確信している。

透明性と信頼性

SMG/APP 社による「保護価値の高い森林」の調査は何ら新しいものではない。同社はこれまで何度も多くの専門家にアセスメントを依頼している。

- SMG/APP 社は同社の木材供給を認証するように FSC（森林管理協議会）に依頼をしたことがある。しかし FSC は同社が FSC の原則と基準に反する自然林破壊を続けることを理由に、グループとして認証を行わないことを最終的に決定している³⁸。
- SMG/APP 社は同社の伐採許可地の一部にある「保護価値の高い森林」の特定とその保護に関するモニタリングをレインフォレスト・アライアンスに依頼をしたことがある。しかしレイ

ンフォレスト・アライアンスは同社が特定された「保護価値の高い森林」を保護しなかったとして、その契約を破棄した³⁹。

- SMG/APP 社は操業の認証を PEFC、SGS、LEI、TUV、EU Ecolabel 等に依頼をしている。しかしこれらの組織はすべて、発行した認証や検証に関連する同社の主張を後に否定している^{40 41}。
- SMG/APP 社はカーボンフットプリント評価を英国のコンサルティング会社、ERM に依頼をしており、同社がカーボンニュートラルに近い状況にあると報告している。しかし後に行われた NGO の調査により SMG/APP 社の紙製品は世界のほとんどの紙製品よりもカーボンフットプリントが高いことが判明している⁴²。データの検証を求められた同社は全報告書の公開を拒んでいる。その後 ERM は報告書が背景的な情報なしに使われたことに懸念を示している。2010 年に ERM はそれに続く調査に関わったが、SMG/APP 社はこの調査については何も発表していない。
- SMG/APP 社の取引先が同社のビジネス慣行の評価を行っているとの噂がある。しかし SMG/APP 社はそれらの評価の公開を拒んでいる。
- SMG/APP 社はこういった主張の一方で、新工場を計画し事業を拡大し続けている。

このような行いは、SMG/APP 社の環境面での問題だけにとどまらず、経済的な問題においても同様のようだ。SMG/APP 社の創業者であるエカ・チプタ・ウィジャヤ氏は、インドネシアにおいて最も裕福な人物と言われている。2012 年 6 月発行のグローブ・アジア(Issue 6-6)では、その資産は 125 億 US ドルと推定されている。2000 年代初頭には同社は 139 億 US ドル⁴³の負債を抱え、アジア最大と言われる倒産に陥った。10 年後、どうやら SMG/APP 社は債務不履行によって抱えた何十億 US ドルという負債の返済義務を世界中の納税者および融資者、投資家に対して負ったままであるようだ。SMG/APP 社はシカゴやニューヨークの裁判所の命令で、13 億ドル以上の返済を命じられている。また米国で要求された情報を開示しなかったために法定侮辱罪に問われ、何百万ドルという違反金を課せられている⁴⁴。

⇒ SMG/APP 社が際限なく虚報、誓約の反故、不透明なビジネスを続けることを鑑み、アイズ・オン・ザ・フォレストは同社がこれからも世界を欺き続けると考える。

SMG/APP 社への要請

SMG/APP 社は利害関係者から最低限の信頼を得るために、早急に以下をすべきである：

森林破壊を引き起こし続けるパルプ工場について

- 透明性のある「保護価値の高い森林」の調査が完了するまで、既存または新規の工場において、所有する伐採許可地および独立系木材供給会社からの自然の熱帯林に由来する原料でのパルプ生産を全て停止する。
- 持続可能な植林地からの原料供給が全工場で確立されるまで既存のパルプ工場の拡大、または新規のパルプ工場の建設を停止する。
- 既存の工場の生産量を、利用可能な植林地の木材供給量に適応させる。
- 伐採の一時停止が予定される地域と同社が継続して供給を受ける植林地の地図を公表する。
- 自然の熱帯林からの原料がこれ以上パルプ生産に使用されないよう、全工場に入るすべての木材について第三者による透明性のある流通過程管理の監査体制を確立する。

森林破壊を続ける伐採許可地について：

- 自然林が存在する伐採許可地の獲得を止めること、そして自社または合弁事業、関連する供給会社による既存の許可申請も全て取り下げること。
- 新規のパルプ材植林地は「保護価値の高い」地域ではなく、先住民や地元住民の土地保有権問題が存在しない、いわゆる荒地または休閑地につくる。
- 木質繊維を入荷している、または入荷する予定のすべての伐採許可地に関する詳細な情報を公開し、それを独立した第三者に公開で検証させる。

「保護価値の高さ」に関する調査について

- 新方針で発表された「保護価値の高さ」に関する調査の委託事項についての詳細な情報を公開し、調査に関する委託事項の定義付けのための支援を利害関係者に求める。
- 「保護価値の高い森林」の調査実施のため、関係する利害関係者が受け入れる、完全に独立した信頼できる第三者に委託を行うこと。
- 各パルプ工場が操業のために木質繊維を受け入れている、または受け入れる予定のすべての伐採許可地の正確な境界線を示す GIS（地理情報システム）対応の電子データを公開し、当該データを第三者に公開で検証させる。
- 利害関係者に、全データおよび「保護価値の高さ」の調査者が訪れる現場すべてへのアクセス権を提供し、プロセス全体に係る第三者のモニタリングと評価プログラムを構築するように求める。

透明性について：

- 伐採許可地の申請、木材取引契約からパルプの輸出までを含む木材供給の操業全てについて独立性および透明性があり、公開された、第三者によるモニタリング・評価プログラムを構築する。
- 操業に関する過去の評価をすべて完全に公表する。

SMG/APP 社の顧客およびその他のビジネス上の関係者への勧告

アイズ・オン・ザ・フォレストは、10年以上の経験に基づき、消費者に対してSMG/APP社および同社のマーケティングパートナーによるグリーンウォッシュを信じないよう勧告します。同社の発言が重要なのではなく、行動のみが重視されるべきです。同社が上記の行動を十分な形で行うことが、独立性かつ透明性ある市民社会のモニタリングによって確認されるまで、アイズ・オン・ザ・フォレストは各企業に対して、同社および関連企業とのあらゆる関係を断つよう求めます。インドネシアの自然林を守るため、同社が続ける森林破壊に加担しないでください。同社の関連会社に自然林伐採権を発行する際の汚職のため、複数の政府高官が服役しています⁴⁵。

Appendix 1

スマトラ島リアウ州に、現在SMG/APP社が「所有する」と主張する企業の伐採許可地

# In Map 1	Company	Concession area (Ha)	Natural forest 2011 (Ha)	Natural forest cover (%)	Remark
1	PT. Arara Abadi - Sedinginan	7,165	136	2%	All remaining forest protected by law.
2	PT. Arara Abadi - Sedinginan	3,609	103	3%	All remaining forest protected by law.
3	PT. Arara Abadi - Beringin	15,813	2,019	13%	All remaining forest protected by law.
4	PT. Arara Abadi - Beringin	9,519	4	0%	All remaining forest protected by law.
5	PT. Arara Abadi - Minas	8,655	0	0%	No forest
6	PT. Arara Abadi - Minas	14,729	248	2%	All remaining forest protected by law.
7	PT. Arara Abadi - Minas	3,552	0	0%	No forest
8	PT. Arara Abadi - Pelalawan	23,480	687	3%	All remaining forest protected by law.
9	PT. Arara Abadi - Pelalawan	28,949	1,096	4%	All remaining forest protected by law.
10	PT. Arara Abadi - Pulau Muda	28,196	6,865	24%	Majority of natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary" protection of the forest as HCVF based on SmartWood 2004 assessment and its agreement with the creditors.
11	PT. Arara Abadi - Nilo	26,381	2,832	11%	All remaining forest protected by law.
12	PT. Arara Abadi - Pelalawan	846	7	1%	All remaining forest protected by law.
13	PT. Arara Abadi - Siak	44,902	7,712	17%	Some natural forest protected by law. APP committed to "voluntary" protection of the forest as HCVF based on SmartWood 2004 assessment and its agreement with the creditors.
14	PT. Arara Abadi - Duri	88,660	3,780	4%	All remaining forest protected by law.
15	PT. Arara Abadi - Duri	57,664	1,707	3%	All remaining forest protected by law.
31	PT. Riau Abadi Lestari	5,416	0	0%	No forest
32	PT. Riau Abadi Lestari	4,128	1	0%	All remaining forest protected by law.
33	PT. Riau Abadi Lestari	6,259	0	0%	No forest
42	PT. Satria Perkasa Agung	13,446	763	6%	All remaining forest protected by law.
43	PT. Satria Perkasa Agung	21,158	21,158	100%	All natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary protection" of the remaining forest as Core Zone of the UNESCO Giam Siak Kecil-Bukit Batu Biosphere.
44	PT. Satria Perkasa Agung - Pulau Muda	40,554	15,366	38%	Almost all natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary" protection of the forest as HCVF based on SmartWood 2004 assessment and its agreement with the creditors.
45	PT. Satria Perkasa Agung & KTH. Sinar Merawang - Pulau Muda	9,878	3,190	32%	All natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary" protection of the forest as HCVF based on SmartWood 2004 assessment and its agreement with the creditors.
46	PT. Satria Perkasa Agung - Serapung	11,864	3,166	27%	Almost all natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary" protection of the forest as HCVF based on SmartWood 2004 assessment and its agreement with the creditors.
50	PT. Satria Perkasa Agung - ex. HPHTI PT. Intipalma	33,688	821	2%	All remaining forest protected by law.
APP "own" concessions total		508,511	71,661	14%	

Appendix 2

スマトラ島リアウ州に、以前 SMG/APP 社が「管理する」と述べた企業の伐採許可地と、いわゆる「独立系」と考えられる企業の伐採許可地

# in Map 1	Company	Concession area (Ha)	Natural forest 2011 (Ha)	Natural forest cover (%)	Remark	Relationship with APP/SMG and data source
23	PT. Bukit Batu Hutani Alam	33,000	6,152	19%	All natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary protection" of all forest as Core Zone of the UNESCO Giam Siak Kecil-Bukit Batu Biosphere.	WWF-APP Letter of Intent in 2003 lists this company as a joint venture company. http://awsassets.wwf.or.id/downloads/letter_of_intent_final.pdf
24	PT. Mitra Hutani Jaya	9,668	2,531	26%	Some natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary" protection of the forest as HCVF based on SmartWood 2004 assessment and its agreement with the creditors.	SmartWood HCVF report stated this and PT. SPA Serapung "are managed as a single entity by PT. Arara Abadi" http://www.hcvnetwork.org/resources/assessments/SmartWood%20HCVF%20Serapung%20Final%202005.pdf
25	PT. Perawang Sukses Perkasa Industri	22,987	685	3%	All remaining forest protected by law.	
26	PT. Perawang Sukses Perkasa Industri	7,520	0	0%	No forest	
27	PT. Perawang Sukses Perkasa Industri	24,447	3,650	15%	All remaining forest protected by law.	Asia Pulp & Paper (26 April 2004) Press Release: APP Announces Increase in Renewable Fiber Supply.
28	PT. Perawang Sukses Perkasa Industri	6,821	663	10%	All remaining forest protected by law.	
30	PT. Putra Riau Perkasa	16,578	16,578	100%	All natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary protection" as Kampar Carbon Reserve.	The Jakarta Post (25 September 2010) Sinas Mas hopes to show public it "cares" about environment. http://www.thejakartapost.com/news/2010/09/25/sinar-mas-hopes-show-public-it-%E2%80%9Ccares%E2%80%9D-about-environment.html
40	PT. Sakato Pratama Makmur	22,842	10,029	44%	All natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary protection" of the remaining forest as Core Zone of the UNESCO Giam Siak Kecil-Bukit Batu Biosphere.	WWF-APP Letter of Intent in 2003 lists this company as a joint venture company.
41	PT. Sakato Pratama Makmur	21,862	4,388	20%	All natural forest protected by law. In addition, APP committed to "voluntary protection" of the remaining forest as Core Zone of the UNESCO Giam Siak Kecil-Bukit Batu Biosphere.	http://awsassets.wwf.or.id/downloads/letter_of_intent_final.pdf
51	PT. Dexter Timber Perkasa Indonesia	21,678	9,281	43%	The concession overlaps with Hutan Lindung (Protection Forest) according to currently active land use plan (TGHK 1986), therefore could not clear this forest.	Cagar Biosfer Giam Siak Kecil - Bukit Batu blogspot. Kronologi Menjadi Cagar Biosfer (http://gskbb.blogspot.com/2011/04/kronologi.html) Facebook page (http://www.hs.facebook.com/pages/PTDEXTER-TIMBER-PERKASA-INDONESIA-Sinar-Mas-Group/115670725145119)
Total		187,402	53,957	29%		

2. Concessions of 15 APP/SMG may have as so-called "independent" suppliers

# in Map 1	Company	Concession area (Ha)	Natural forest 2011 (Ha)	Natural forest cover (%)	Remark
16	PT. Artelindo Wiratama	10,212	3,288	32%	
17	PT. Balai Kayang Mandiri	6,008	230	4%	All remaining forest protected by law.
18	PT. Balai Kayang Mandiri	6,345	6,345	100%	
19	PT. Balai Kayang Mandiri	8,812	4,703	53%	
20	PT. Bina Daya Bentala	20,308	2,928	14%	All remaining forest protected by law.
21	PT. Bina Daya Bintara	1,410	0	0%	No forest
22	PT. Bina Duta Laksana	29,187	8,537	29%	
29	PT. Prima Bangun Sukses	8,606	42	0%	All remaining forest protected by law.
34	PT. Riau Indo Agropalma	9,701	3,499	36%	
35	PT. Rimba Mandau Lestari	5,594	301	5%	All remaining forest protected by law.
36	PT. Rimba Rokan Perkasa	22,580	338	1%	All remaining forest protected by law.
37	PT. Rimba Seraya Utama	11,575	367	3%	All remaining forest protected by law.
38	PT. Ruas Utama jaya	16,122	1,695	11%	All remaining forest protected by law.
39	PT. Ruas Utama jaya	28,531	6,097	21%	
47	PT. Suntura Gajapati	34,705	10,889	31%	
48	PT. Inhil Hutani Pratama	11,553	888	8%	All remaining forest protected by law.
49	PT. Bina Keluarga	8,979	2,235	25%	
133	PT. Mutiara Sabuk Khatulistiwa	44,289	27,980	63%	
Total		284,518	80,363	28%	

References

- ¹ Asia Pulp & Paper (15 May 2012) SMG/APP announces new policies on high conservation value forest. <http://www.scribd.com/doc/93830176/SMG/APP-High-Conservation-Value-Forest-Statement>
- ² Asia Pulp & Paper (5 June 2012a) Asia Pulp & Paper Group (SMG/APP) charts a course to world-class industry standards in sustainable business. <http://www.rainforestrealities.com/newsroom/press-releases/asia-pulp-paper-group-smg/app-charts-a-course-to-world-class-industry-standards-in-sustainable-business>
- ³ Asia Pulp & Paper (15 May 2012)
- ⁴ SMG/APP says: “Until we complete the HCV assessments, it won’t be possible to say for sure how much of our undeveloped land will be classified as ‘natural forests’” in Asia Pulp & Paper (23 May 2012a) High Conservation Values cover more than ‘Natural Forest’. <https://www.rainforestrealities.com/2012/05/23/high-conservation-values-cover-more-than-%E2%80%98natural-forest%E2%80%99/>
- ⁵ SMG/APP says: “First are SMG/APP-owned pulpwood plantation concessions. These are pulpwood supplier companies in which SMG/APP has equity stakes. There are six SMG/APP-owned pulpwood plantation companies that hold pulpwood plantation concession licenses in Indonesia. These concessions are located in Sumatra and Kalimantan, covering over one million hectares gross in total. Second is SMG/APP independent wood suppliers. These are independent companies that hold pulpwood plantation concession licenses in Indonesia. SMG/APP has no ownership share in these companies. The companies have long-term contractual agreements to supply SMG/APP mills with pulpwood. Currently there are SMG/APP approximately 30 independent companies supplying pulpwood to SMG/APP mills.” in Asia Pulp & Paper (23 May 2012a). The three companies are Sinarmas Forestry companies. (Sinarmas Forestry website, "History" - http://us.sinarmasforestry.com/about_history.asp?menu=1)
- ⁶ For example, Keputusan Menteri Kehutanan Nomor: 70/Kpts-II/95 Tentang Pengaturan Tata Ruang Hutan Tanaman Industri (http://www.dephut.go.id/files/70_95_ind.pdf) in conjunction with Keputusan Menteri Kehutanan Nomor: 246/Kpts-II/1996 Tentang Perubahan Keputusan Menteri Kehutanan Nomor 70/KPTS-II/1995 Tentang Pengaturan Tata Ruang Hutan Tanaman Industri (http://www.dephut.go.id/files/246_96.pdf) in conjunction with Peraturan Menteri Kehutanan Nomor: P.21/Menhut-II/2006 Tentang Perubahan Keputusan Menteri Kehutanan Nomor 246/Kpts-II/1996 Tentang Perubahan Keputusan Menteri Kehutanan Nomor 70/KptsII/1995 Tentang Pengaturan Tata Ruang Hutan Tanaman Industri (<http://www.dephut.go.id/index.php?q=id/node/1948>).
- ⁷ Rainforest Realities page: Industry preserves globally recognized conservation site. <http://www.rainforestrealities.com/articles/industry-preserves-globally-recognized-conservation-site/>
- ⁸ Eyes on the Forest (26 March 2012) SMG/APP: default on environmental covenant. <http://eyesontheforest.or.id/attach/EoF%20%28Mar12%29%20SMG/APP%20default%20on%20environmen%20covenant%20report%20FINAL.pdf>
- ⁹ WWF (26 March 2012) SMG/APP’s double default on creditors. http://wwf.panda.org/wwf_news/?203983/SMG/APPs-double-default-on-creditors
- ¹⁰ European Environmental Paper Network (11 June 2012) Europe Must Stop Funding Forest Destruction. <http://www.environmentalpaper.eu/2012/06/11/europe-must-stop-funding-forest-destruction/>
- ¹¹ Sinarmas Forestry website, "History" - http://us.sinarmasforestry.com/about_history.asp?menu=1
- ¹² Rainforest Alliance SmartWood Program (2004) Public Announcement for the Forest Management Certification Assessment of PT. Finnantara Intiga in West Kalimantan, Indonesia beginning on or after August 23rd 2004.
- ¹³ Pirard, R. & Cossalter, C. (2006) The Revival of Industrial Forest Plantations in Indonesia’s Kalimantan Provinces. Will they help eliminate fiber shortfalls at Sumatran pulp mills or feed the China market? http://www.iddri.org/Publications/Publications-scientifiques-et-autres/R.%20Pirard_Revival%20Industrial%20Plantations%20Kalimantan.pdf

- ¹⁴ LEI (February 2011) Forest Management Unit and Forestry Industries Certified by LEI Scheme. http://www.lei.or.id/files/Certified%20UM_Feb11.pdf
- ¹⁵ Eyes on the Forest (14 December 2011)
- ¹⁶ For assumptions of this calculation, see Eyes on the Forest (14 December 2011)
- ¹⁷ Asia Pulp & Paper (22 February 2011) Asia Pulp & Paper Lays Out Key Milestones On Path to 100 Percent Pulpwood Supply Certification. <http://www.businesswire.com/news/home/20110222007673/en/Asia-Pulp-Paper-Lays-Key-Milestones-Path>
- ¹⁸ Asia Pulp & Paper (5 April 2011) Asia Pulp & Paper Group Partners with Carbon Conservation on Vision 2020: A Roadmap to Global Leadership in Sustainable Pulp and Paper Production. http://www.csrwire.com/press_releases/31948-Asia-Pulp-Paper-Group-Partners-with-Carbon-Conservation-on-Vision-2020-A-Roadmap-to-Global-Leadership-in-Sustainable-Pulp-and-Paper-Production
- ¹⁹ Eyes on the Forest (14 December 2011); Chapter 15 Sumatra, Indonesia: Pulping the jungle in Pearce, F. (2012) The Land Grabbers - The New Fight Over Who Owns The Earth.
- ²⁰ Eyes on the Forest (14 December 2011)
- ²¹ Eyes on the Forest (26 March 2012) WWF (26 March 2012)
- ²² Barr, C. (2000) Profits on Paper: The Political Economy of Fiber, Finance, and Debt in Indonesia's Pulp and Paper Industries. CIFOR. http://siteresources.worldbank.org/INTINDONESIA/FLEG/20171586/Chriss_Bar.pdf
- ²³ Eyes on the Forest (26 March 2012)
- ²⁴ Asia Pulp & Paper (February 2004) Sustainability Action Plan. <http://www.greenpeace.org/usa/Global/international/code/2011/SMG/APP/pdfs/SMG/APP%202004%20SAP%20Final.pdf>
- ²⁵ Asia Pulp & Paper (June 2004) Stakeholder Update 03/04.
- ²⁶ Asia Pulp & Paper (May 2007) SMG/APP 2005/06 Environment Report. [http://www.asiapulppaper.com/portal/SMG/APP_Portal.nsf/Web-MenuPage/1B2BBDDE7FB9B64C4725739B00232E6A/\\$FILE/SR1.PDF](http://www.asiapulppaper.com/portal/SMG/APP_Portal.nsf/Web-MenuPage/1B2BBDDE7FB9B64C4725739B00232E6A/$FILE/SR1.PDF)
- ²⁷ Bisnis Indonesia (24 April 2011) Konglomerat Kembangkan Investasi HTI Di Kalimantan Dan Papua. <http://www.bisnis.com/articles/konglomerat-kembangkan-investasi-hti-di-kalimantan-dan-papua>
- ²⁸ Obidzinski, K & Dermawan, A. (30 May 2011) CIFOR Forest blog: New round of pulp and paper expansion in Indonesia: What do we know and what do we need to know? <http://blog.cifor.org/2905/new-round-of-pulp-and-paper-expansion-in-indonesia-what-do-we-know-and-what-do-we-need-to-know/>
- ²⁹ RISI (31 January 2012) RISI VIEWPOINT: The world's largest market pulp line is being planned for startup in 2015-16 in Indonesia. <http://www.scribd.com/doc/84991687/RISI-Viewpoint-the-Worlds2019s-Largest-Market-Pulp-Line-is-Being-Planned-for-Startup-in-2015-16-in-Indonesia>
- ³⁰ Asia Pulp & Paper (5 June 2012a)
- ³¹ Asia Pulp & Paper (5 June 2012b) Asia Pulp & Paper 2020 Sustainability Roadmap Milestones. <http://www.flickr.com/photos/asiapulppaper/7336576736/in/photostream>
- ³² Asia Pulp & Paper (23 May 2012b) MTH is in Everyday Life; Asia Pulp & Paper (SMG/APP) Response to the Greenpeace KFC Campaign. <http://www.rainforestrealities.com/newsroom/press-releases/mth-is-in-everyday-life-asia-pulp-paper-smg/app-response-to-the-greenpeace-kfc-campaign/>
- ³³ See reports collected at <http://www.eyesontheforest.or.id>
- ³⁴ WWF Report "Sumatra's forest, their Wildlife and the Climate" (July 2010)

http://awsassets.wwf.or.id/downloads/wwf_indonesia_2010_sumatran_forests_wildlife_climate_report_for_dkn_bappenas.pdf

³⁶ See Eyes on the Forest Sumatra Google Earth Map: <http://maps.eyesontheforest.or.id>

³⁷ Eyes on the Forest (26 March 2012) WWF (26 March 2012) Eyes on the Forest (14 December 2011) Eyes on the Forest (30 November 2010) EoF calls on SMG/SMG/APP and APRIL to keep their promises: Stop conversion of natural forest and drainage of peat to produce pulp, stop violation of the country's climate commitments.

[http://www.eyesontheforest.or.id/attach/EoF%20\(30Nov10\)%20Riau%20RKT%202010%20natural%20forest%20and%20peat%20conversion%20EN%20FINAL.pdf](http://www.eyesontheforest.or.id/attach/EoF%20(30Nov10)%20Riau%20RKT%202010%20natural%20forest%20and%20peat%20conversion%20EN%20FINAL.pdf)

³⁸ Forest Stewardship Council (December 2007) Forest Stewardship Council dissociates with Asia Pulp and Paper. http://www.fsc.org/fileadmin/web-data/public/document_center/Stakeholder_updates/FSC_dissociates_with_SMG/APP-EN.pdf

³⁹ Rainforest Alliance (October 2007) Rainforest Alliance Public Statement: Termination of Contracts with SMG/APP in China. <http://www.rainforest-alliance.org/forestry/documents/SMG/APP.pdf>

⁴⁰ WWF (15 February 2012) SMG/APP certifiers distance themselves from sustainability claims. <http://wwf.panda.org/?203540/SMG/APP-certifiers-distance-themselves-from-sustainability-claims>

⁴¹ WWF (15 February 2012) WWF Questionnaire to Certification Standard Setting Bodies / Certification Bodies Associated with Asia Pulp & Paper: PEFC; SGS; LEI; TUV Rheinland; AFNOR and EU Ecolabel. http://awsassets.panda.org/downloads/SMG/APP_collated_certifier_responses_final_13_february_2012.pdf

⁴² Rainforest Action Network & Japan Tropical Forest Action Network (October 2010) Asia Pulp & Paper's Hidden Emissions: Calculating the Real Carbon Footprint of SMG/APP's Paper. http://ran.org/sites/default/files/SMG/APP_hidden_emissions.pdf

⁴³ JPMorgan Chase Bank NA vs. PT Indah Kiat Pulp and Paper Corp., PT Pabrik Kertas Tjiwi Kimia Tbk, and Asia Pulp & Paper Company Ltd. US District Court, Northern District of Illinois, Case. No. 02 cv 6240.

⁴⁴ Supreme Court of the State of New York County of New York. Index No. 600405/2004. US. Bank National Association, Plaintiff, against SMG/APP International Finance Company B.V., P.T. Lontar Papyrus Pulp & Paper Industry, Asia Pulp & Paper Company Ltd., Indah Kiat International Finance Company B.V., and P.T. Indah Kiat Pulp & Paper Corporation, Defendants. Memorandum in Support of Plaintiff's Request for Fees and Expenses in Accordance with the Order of the Court Dated March 5, 2012.

⁴⁵ Anti Forest-Mafia Coalition of NGOs (4 May 2012) SMG/APP, APRIL and Corruption – Buyers Beware! [http://www.eyesontheforest.or.id/attach/KLAKH%20\(04May12\)%20Factsheet%20SMG/APP%20APRIL%20and%20Corruption_FINAL_20120525080524.pdf](http://www.eyesontheforest.or.id/attach/KLAKH%20(04May12)%20Factsheet%20SMG/APP%20APRIL%20and%20Corruption_FINAL_20120525080524.pdf)